



平成24年3月12日

各位

上場会社名 東亜ディーケーケー株式会社
 代表者 代表取締役社長 佐々木 輝男
 (コード番号 6848)
 問合せ先責任者 常務取締役 玉井 亨
 (TEL 03-3202-0211)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年4月27日に公表いたしました平成24年3月期通期の連結業績予想、個別業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,160	1,290	1,280	750	43.24
今回修正予想(B)	14,210	1,570	1,600	770	38.82
増減額(B-A)	50	280	320	20	
増減率(%)	0.4	21.7	25.0	2.7	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	13,734	1,289	1,271	1,096	63.22

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,200	1,000	600	34.59
今回修正予想(B)	13,250	1,290	650	32.77
増減額(B-A)	50	290	50	
増減率(%)	0.4	29.0	8.3	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	12,758	967	960	55.38

修正の理由

平成24年3月期の業績予想につきましては、東日本大震災の復旧、復興協力需要もあり、売上面において環境プロセス分析機器を中心に堅調に推移したこと、また、数年来実施している生産子会社を含む全グループ社員の経営参画による経営改革運動が成果をあげ、利益率が改善されたこと等により、営業利益及び経常利益が共に著増し、平成12年合併以来過去最高額を確保できる見通しとなりました。これにより、一昨年9月以降本年2月で月次黒字化30連勝を達成することができました。

当期純利益におきましても、損害補償損失引当金繰入計上(本日付で開示いたしました「損害補償損失引当金繰入に関する特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。)があるものの、当初の目標値は十分に達成できる見込みとなりました。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成23年4月27日発表)	—	—	—	8.00	8.00
今回修正予想	—	—	—	9.00	9.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成23年3月期)	—	—	—	9.00	9.00

修正の理由

当社はかねてから、将来の事業展開のための内部留保を勘案しながら、株主の皆様に業績に応じた適正かつ安定的な配当を継続することを基本方針としております。

当期末の配当予想につきましては、1株当たり8円としておりましたが、上記業績予想を踏まえて、特別配当1円を加算し9円に修正いたします。

本件につきましては、平成24年6月下旬開催予定の定時株主総会に付議する予定です。

なお、次期(平成25年3月期)につきましては、日本経済の景況は極めて不透明ではあるものの、HACHとの提携強化で相互経営(相互開発、相互販売)改革加速宣言の下、更なる収益構造の安定化推進により一定の収益は確保できる見通しでありますので、期末配当9円を普通配当とする予定であります。

以上